

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	生活排水対策推進啓発事業			会計	款	項目	大事	小事	
				01	04	01	04	03	01
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	環境政策課				
施策	2-1	豊かで美しい生活環境の創造		主管課長	大島 尚文				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	浄化槽設置者	意図	浄化槽の適正管理により放流水の水質適正化を図ることにより河川及び湖沼の水質浄化を図る。
事業内容	水質保全の啓発に努め、河川及び湖沼の水質浄化を図るため千葉県浄化槽推進協議会負担金を計上するもの。			
事業開始から現在までの状況変化	手賀沼流域を抱える流山市独自の施策として平成6年度から浄化槽放流水の水質調査を実施してきた。下水道の普及に伴い浄化槽設置区域が減っていること、また、くみとり槽や単独槽からの転換も進み浄化能力の高い機種が普及してきていることから、平成30年度から放流水の水質調査を廃止し推進活動や啓発活動への情報共有の為、協議会への参加事業のみとした。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	啓発活動実施回数	1	1	0	回	→→	
②	浄化槽放流水水質基準達成率	63	71	0	%	↑↑↑		
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・平成28年4月から新たに下水道計画が見直され平成36年度末までに下水道を整備する地域と合併処理浄化槽で汚水処理を行う地域が生じた。 ・浄化槽放流水水質基準達成率は伸びてきている。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		938,080	922,780	680,200				
事業費(b)(円)		251,580	251,580	21,000				
うち一般財源		251,580	251,580	21,000				
職員給与費(c)(円)		686,500	671,200	659,200				
人役・職員(人)		0.10	0.10	0.10				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	C 必要性は低下すると思われる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	VI 縮 小 （改善ではなく、他の事業との統合又は縮小すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	事務改善。	③取組における課題(Check)	事業の統合の検討。
②H30に実施した取組(Do)	平成30年度から放流水水質分析委託を廃止している。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	別事業へ統合できないか検討する。